5 : 「肝炎ウイルス」について

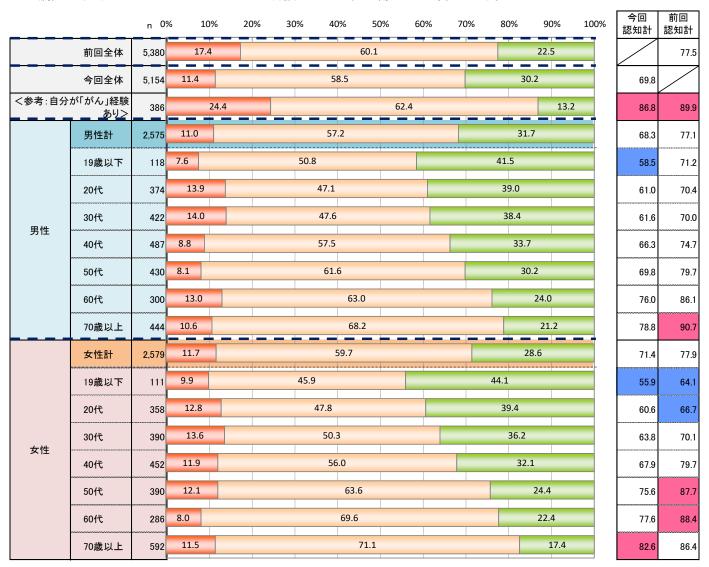
(1) 肝炎ウイルスの認知度

問13. あなたは「肝炎ウイルス」をご存じですか。(択一式)

【全体】

- ・ 認知計は 69.8%。内訳をみると「聞いたことがある」が 58.5%と認知計の大半を占める。 【性別×年代別】
- ・ 男性 60-70 歳以上・女性 50-70 歳以上では、認知計のスコアが有意に高い。 【前回調査との比較】
- ・ 前回調査 (77.5%) と比較して、認知計のスコアは 7.7pt 減少。
 - ■各全体+10%以上 ■各全体-10%以下 (属性n=30以上)

■内容まで知っている ■聞いたことがある ■知らない



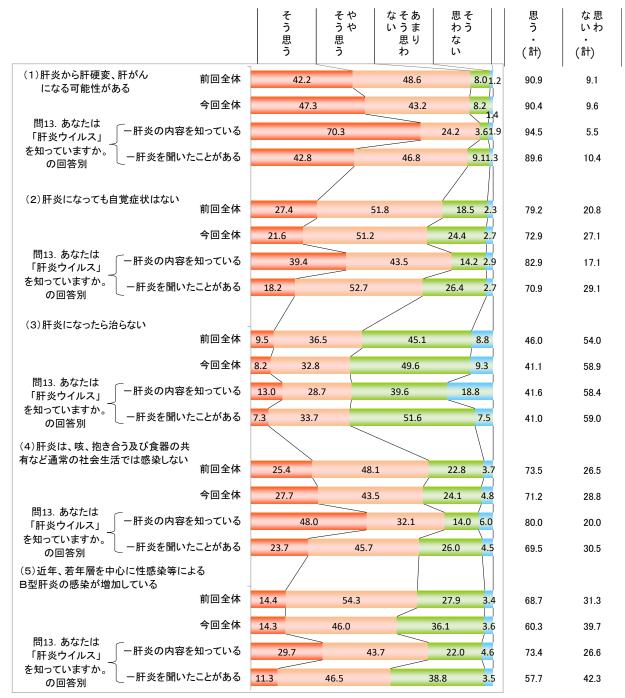
- 5 :「肝炎ウイルス」について
- (2) 肝炎ウイルスへの考え
 - **問14.** 「肝炎ウイルス」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。(択一式)

【全体】

- ・ 思う(計)のスコアをみると、「肝炎から肝硬変、肝がんになる可能性がある」が最も高く90.4%。
- ・ 一方「肝炎になったら治らない」が最も低く 41.1%。

【肝炎ウイルスの認知度別】

- ・ 「肝炎になったら治らない」について、「肝炎の内容を知っている」と回答した者のスコアは今 回調査の全体スコアとほぼ同程度。
- 「肝炎を聞いたことがある」と回答した者は、「肝炎の内容を知っている」と回答した者より全体的にスコアが低い傾向がみられる。

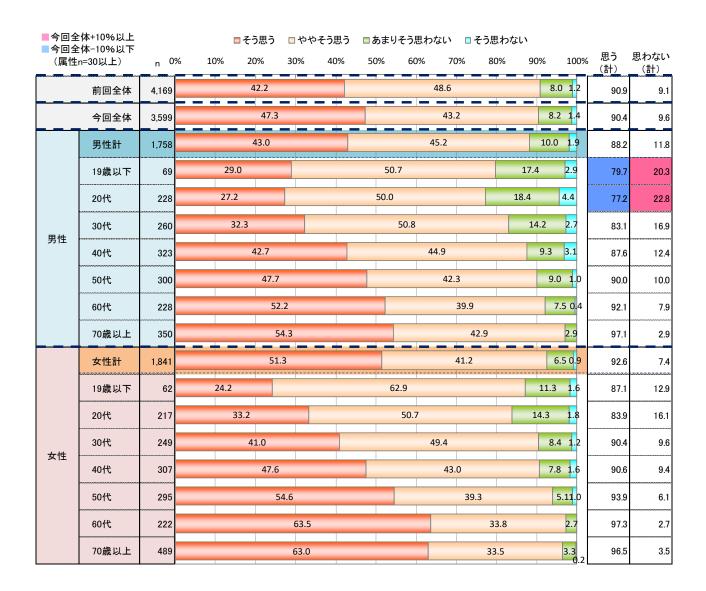


- 5 : 「肝炎ウイルス」について
- (2) 肝炎ウイルスへの考え
 - **問14.** 「肝炎ウイルス」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。(択一式)
 - (1) 肝炎から肝硬変、肝がんになる可能性がある

- 男性 19歳以下-20代において、思う(計)のスコアが有意に低い。
- ・ また、男女ともに年代が上がるほど「そう思う」のスコアが増加傾向。

【前回調査との比較】

・ 前回調査と比較して、思う(計)と思わない(計)に大きな変化はみられない。ただし内訳をみると 「そう思う」のスコアは前回調査(42.2%)と比較して 5.1pt 増加。

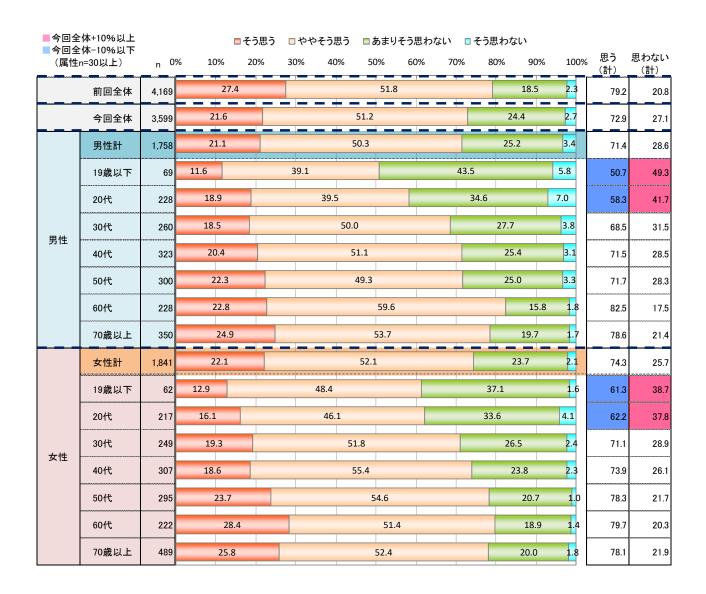


- 5 : 「肝炎ウイルス」について
- (2) 肝炎ウイルスへの考え
 - **問14.** 「肝炎ウイルス」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。 (択一式)
 - (2) 肝炎になっても自覚症状はない

・ 男女ともに 19 歳以下-20 代において思う(計)のスコアが有意に低い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査 (79.2%) と比較して、思う(計)は 6.3pt 減少。その内訳をみると「そう思う」のスコア が前回調査 (27.4%) より 5.8pt 減少、思う(計)のスコアに影響を及ぼしている。

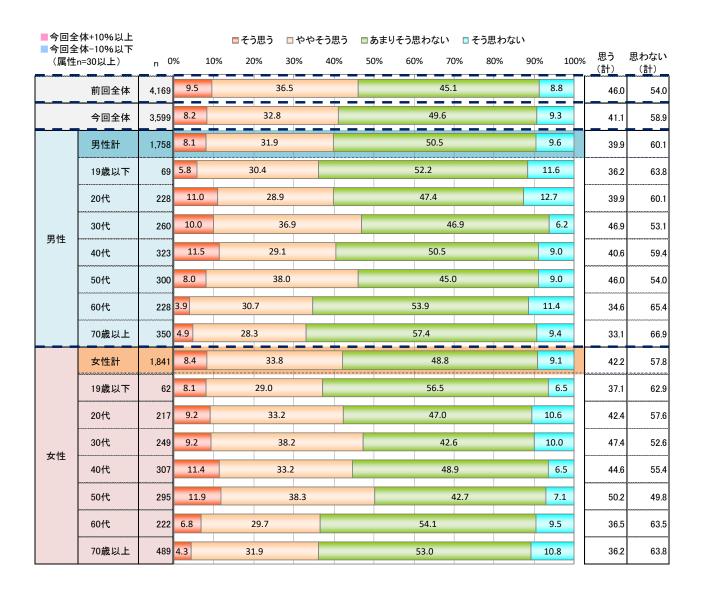


- 5 :「肝炎ウイルス」について
- (2) 肝炎ウイルスへの考え
 - **問14.** 「肝炎ウイルス」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。(択一式)
 - (3) 肝炎になったら治らない

・ 女性30代・50代において、思う(計)のスコアが有意に高い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査(46.0%) と比較して、思う(計)のスコアは 4.9pt 減少。その内訳をみると「ややそう思う」のスコアが前回調査(36.5%) と比較して 3.7pt 減少。

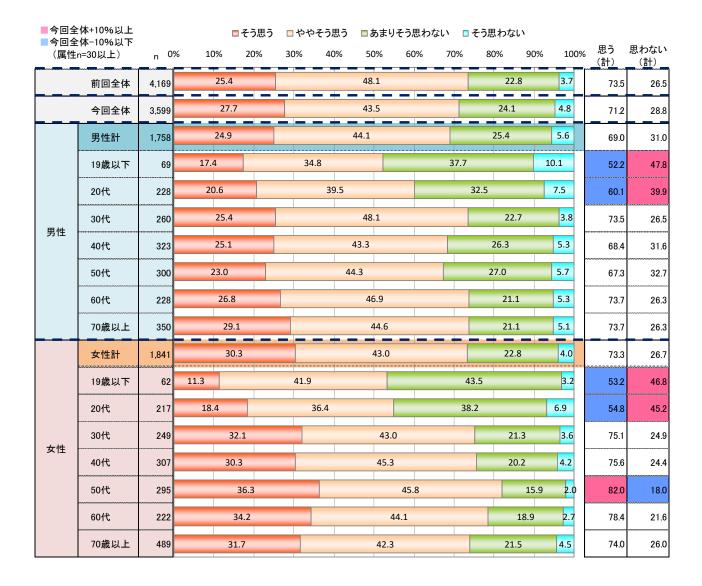


- 5 : 「肝炎ウイルス」について
- (2) 肝炎ウイルスへの考え
 - **問14.** 「肝炎ウイルス」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。(択一式)
 - (4) 肝炎は、咳、抱き合う及び食器の共有など通常の社会生活では感染しない

- ・ 女性 50 代において、思う(計)のスコアが有意に高く、中でも女性 50-60 代の「そう思う」の スコアは3割半ばとなり、他性年代より有意に高い。
- ・ 一方、男女とも19歳以下-20代では、思う(計)のスコアが有意に低い。

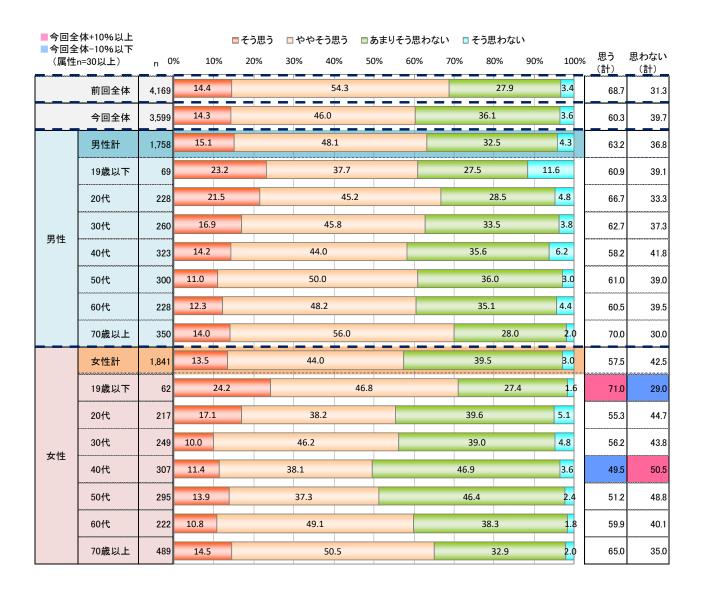
【前回調査との比較】

- ・ 前回調査と比較して、思う(計)は2.3pt減少、思わない(計)は2.3pt増加。その内訳をみると
- ・ 前回調査と比較して「そう思う」のスコアは 2.3pt 増加、「ややそう思う」のスコアは 4.6pt 減少。



- 5 : 「肝炎ウイルス」について
- (2) 肝炎ウイルスへの考え
 - **問14.** 「肝炎ウイルス」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。(択一式)
 - (5) 近年、若年層を中心に性感染等によるB型肝炎の感染が増加している

- ・ 女性 19 歳以下において、思う(計)のスコアが有意に高く、一方、女性 40 代は有意に低い。 【前回調査との比較】
- ・ 前回調査と比較して、思う(計)は8.4pt 減少、思わない(計)は8.4pt 増加。その内訳をみると 前回調査と比較して「ややそう思う」のスコアは8.3pt 減少、「あまりそう思わない」のスコア は8.2pt 増加。



5 :「肝炎ウイルス」について

(3) 肝炎ウイルス検査

問15. あなたはこれまで、「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか。(択一式)

【全体】

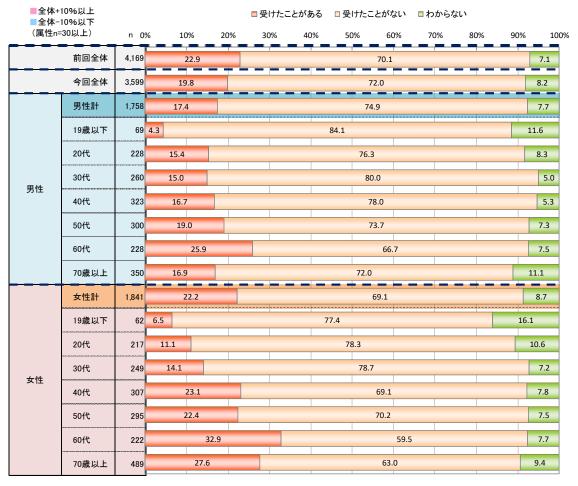
・ 「受けたことがある」が 19.8%、「受けたことがない」が 72.0%、「わからない」は 8.2%となり、 受けたことがある回答者は 2 割弱に留まった。

【性別×年代別】

・ 女性 60 代において「受けたことがある」のスコアが有意に高く、一方、男女とも 19 歳以下は 有意に低い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査と比較して、「受けたことがある」は 3.1pt 減少、「受けたことがない」は 1.9pt 増加。



受けたこと がある	受けたこと がない	わからない
22.9	70.1	7.1
19.8	72.0	8.2
17.4	74.9	7.7
4.3	84.1	11.6
15.4	76.3	8.3
15.0	80.0	5.0
16.7	78.0	5.3
19.0	73.7	7.3
25.9	66.7	7.5
16.9	72.0	11.1
22.2	69.1	8.7
6.5	77.4	16.1
11.1	78.3	10.6
14.1	78.7	7.2
23.1	69.1	7.8
22.4	70.2	7.5
32.9	59.5	7.7
27.6	63.0	9.4

5 :「肝炎ウイルス」について

(2) 肝炎ウイルス検査

問16. 前問で「肝炎ウイルス検査」を「受けたことがある」とお答えになった方に お伺いします。あなたが受けたことのある「肝炎ウイルス検査項目」をお選びください。 (択一式)

【全体】

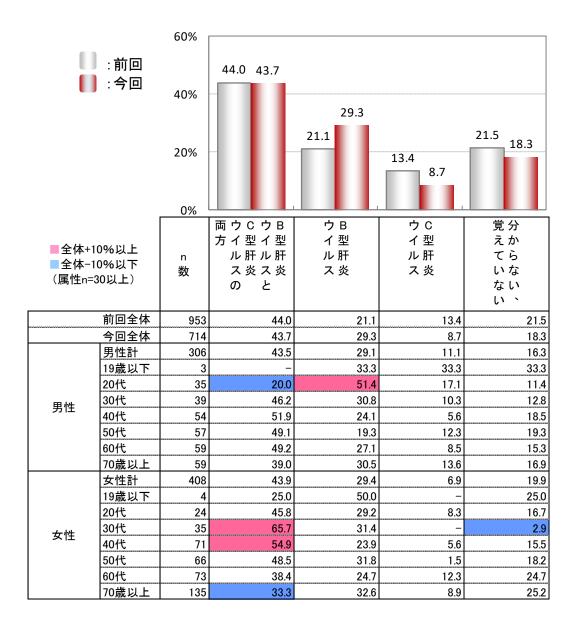
・ 「B型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスの両方」が43.7%で最も高く、「B型肝炎ウイルス」 (29.3%) 「C型肝炎ウイルス」(8.7%) とつづく。

【性別×年代別】

・ 女性 30-40 代は「B 型肝炎ウイルスと C 型肝炎ウイルスの両方」、男性 20 代は「B 型肝炎ウイルス」のスコアがそれぞれ有意に高い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査と比較して、「B型肝炎ウイルス」は8.2pt 増加、「C型肝炎ウイルス」は4.7pt 減少。



- 5 : 「肝炎ウイルス」について
- (3) 肝炎ウイルス検査
 - **問17**. 引き続き、「肝炎ウイルス検査」を「受けたことがある」とお答えになった方に お伺いします。あなたは検査をどこで受けられましたか。受検したことのある場所を すべてお選びください。(複数回答)

【全体】

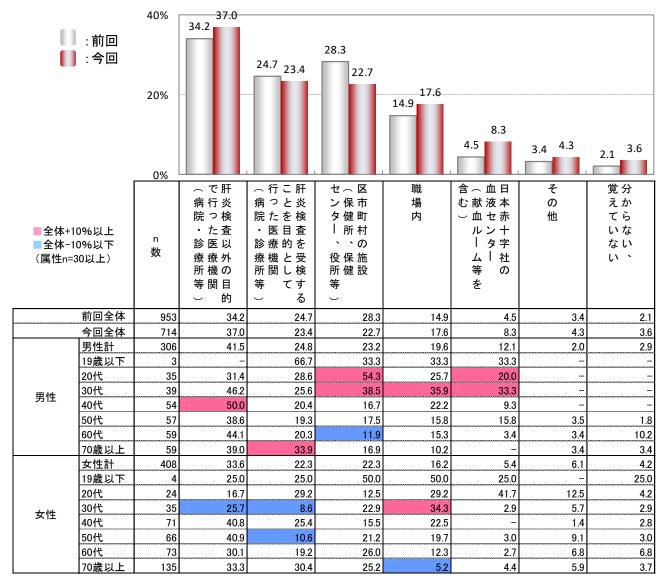
・ 「肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所等)」が 37.0%で最も高い。

【性別×年代別】

・ 男性 40 代は「肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所等)」、男性 70 歳以上は 「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関(病院・診療所等)」、男性 20-30 代は 「区市町村の施設(保健所、保健センター、役所等)」と「日本赤十字社の血液センター(献血 ルーム等を含む)」、男女ともに 30 代は「職場内」のスコアがそれぞれ有意に高い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査(28.3%)と比較して「区市町村の施設(保健所、保健センター、役所等)」のスコアは 5.6pt 減少。



5 :「肝炎ウイルス」について

(3) 肝炎ウイルス検査

問18. 前問で「肝炎ウイルス検査」を「受けたことがない」とお答えになった方に お伺いします。あなたが検査を受けたことがない理由のうちあてはまるものをお選びください。 (複数回答)

※設問文内の「前問」は問15を指します。

【全体】

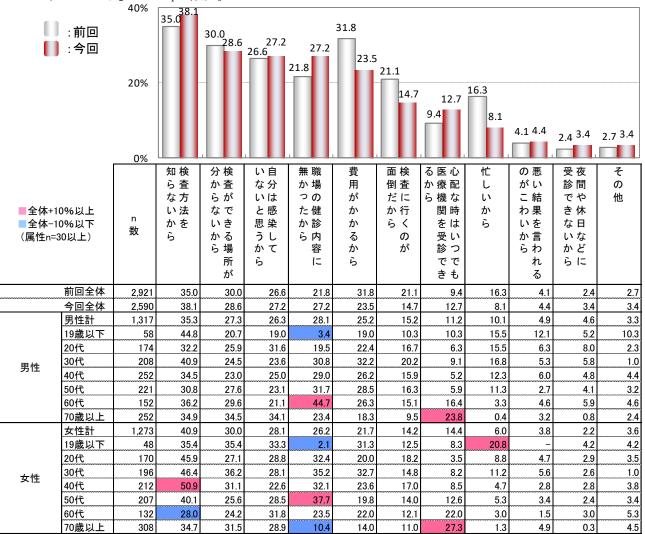
「検査方法を知らないから」が38.1%で最も高く、「検査ができる場所が分からないから」(28.6%)、「自分は感染していないと思うから」(27.2%)、「職場の健診内容に無かったから」(27.2%)とつづく。

【性別×年代別】

・ 女性 40 代は「検査方法を知らないから」、男性 60 代・女性 40 代は「職場の健診内容に無かった から」、男女 70 歳以上は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」、女性 19 歳以下は 「忙しいから」のスコアがそれぞれ有意に高い。

【前回調査との比較】

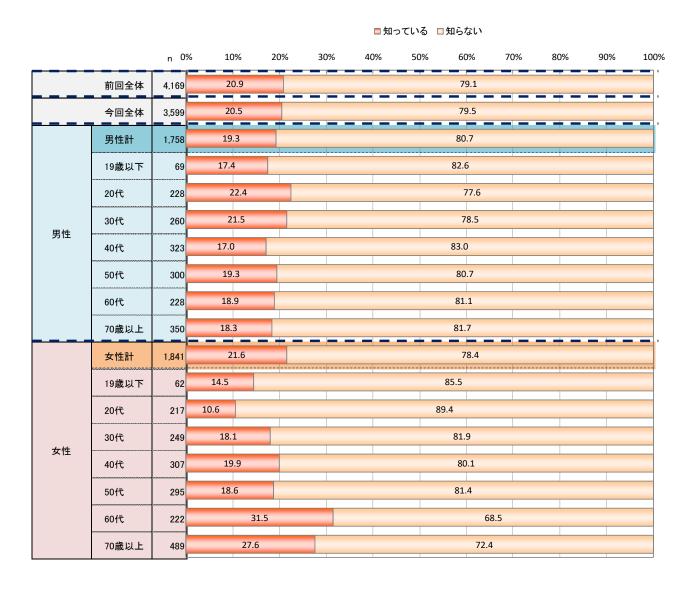
前回調査と比較して、「費用がかかるから」は 8.3pt、「検査に行くのが面倒だから」は 6.4pt、「忙しいから」は 8.2pt 減少。



- 5 :「肝炎ウイルス」について
- (3) 肝炎ウイルス検査
 - **問19**. あなたはお住まいの区市町村で「肝炎ウイルス検査」を受けることができるのを ご存じですか。(択一式)

【全体】

- ・ 「知っている」が 20.5%、「知らない」が 79.5%となり、8 割の方が知らない模様。 【性別×年代別】
- 女性60-70歳以上において「知っている」のスコアが有意に高い。
- ・ 一方、女性 20 代において「知っている」のスコアが有意に低い。 【前回調査との比較】
- ・ 前回調査と比較して、大きな差異はみられない。



- 5 :「肝炎ウイルス」について
- (3) 肝炎ウイルス検査

間20. 「肝炎ウイルス検査」を受けるとしたら、どのような機会に受けたいと思いますか。 (択一式)

【全体】

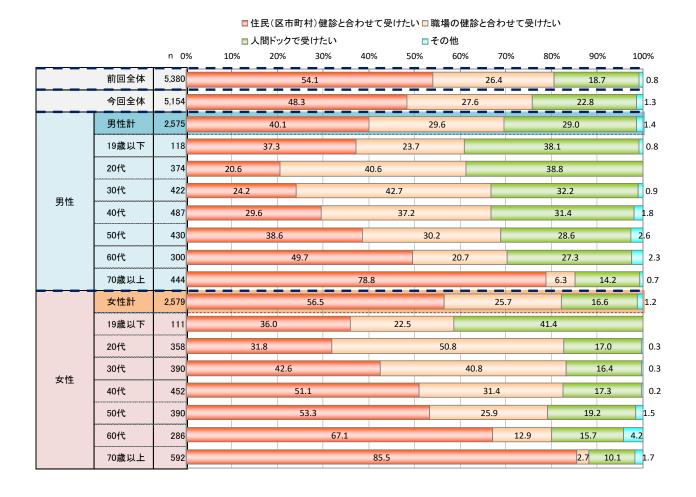
・ 「住民(区市町村)健診と合わせて受けたい」が 48.3%、「職場の健診と合わせて受けたい」が 27.6%、「人間ドックで受けたい」が 22.8%となった。

【性別×年代別】

・ 男性 19 歳以下-50 代・女性 19 歳以下-30 代の働き盛り世代では「住民(区市町村)健診と合わせて受けたい」のスコアが有意に低く、「職場の検診」や「人間ドック」で受けたい様子。

【前回調査との比較】

・ 前回調査と比較して、「住民(区市町村)健診と合わせて受けたい」は 5.8pt 減少、「人間ドックで受けたい」は 4.1pt 増加。



6:「がん教育」について

(1) 「がん教育」の必要性

問21. 多くの人が「がん」にかかっているにもかかわらず、大人も含めて「がん」に関する正しい知識を得る機会は多くはありません。そのため、学校での健康教育の中で子どものころから「がん」に対する正しい知識と「がん患者」に対する正しい認識をもつよう、国において「がん教育」の実施に向けた取組が進められています。あなたはこうした教育は必要だと思いますか。(択一式)

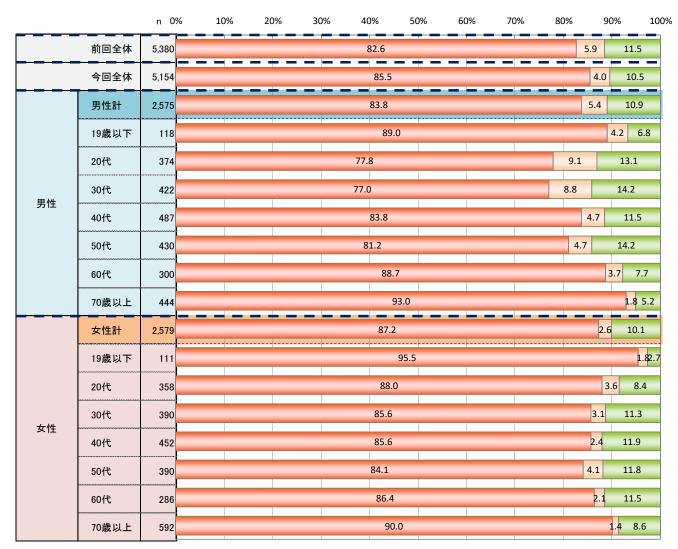
【全体】

- ・ 「必要だと思う」が 85.5%、「必要だと思わない」が 4.0%、「わからない」が 10.5%となった。 【性別×年代別】
- ・ 男性 70 歳以上・女性 19 歳以下において「必要だと思う」のスコアが有意に高い。
- ・ 一方、男性20代は「必要だと思わない」のスコアが有意に高い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査(82.6%)と比較して、「必要だと思う」のスコアが 2.9pt 増加。

■必要だと思う ■必要だと思わない ■わからない



6:「がん教育」について

(1) 「がん教育」の必要性

問22. 前間で「がん教育」が「必要だと思う」とお答えになった方にお伺いします。 「がん」を正しく知り(理解し)予防に活かすために、子どもに対する「がん教育」を いつから始めるのがふさわしいと思いますか。ふさわしいと思う時期をお選びください。 (択一式)

【全体】

・ 「中学生から」が36.7%でトップ、「小学校高学年から」「高校生から」とつづく。

【性別×年代別】

・ 女性 70 歳以上は「小学校中学年」、女性 40-50 代は「小学校高学年から」、男性 70 歳以上は「中学生から」、男女ともに 20 代は「高校生から」、男性 30 代は「大学生以上」のスコアが それぞれ有意に高い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査と比較して、大きな差異はみられない。

■小学校低学年から■小学校中学年から■小学校高学年から■中学生から■高校生から■大学生以上

